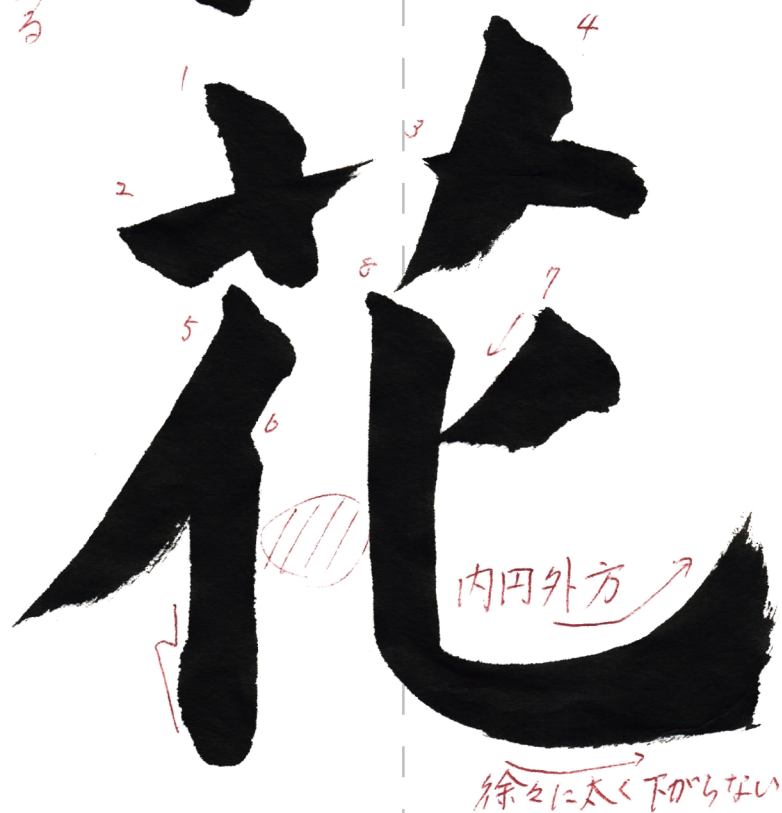
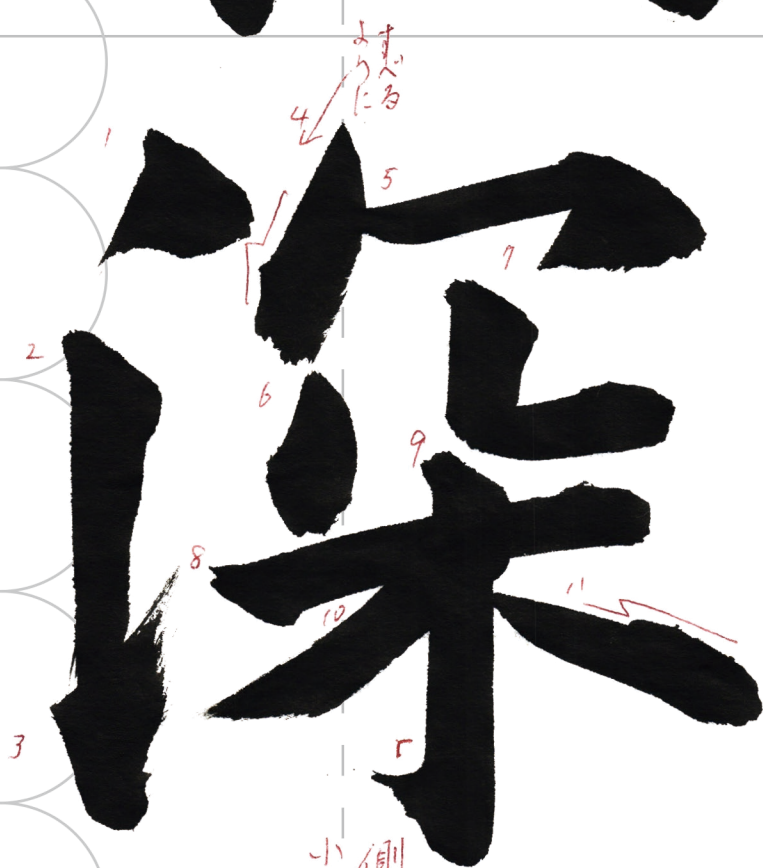




池臺花氣深し

到るところに春草が萌え出でているならん。

(陳去疾の詩)

歐陽詢(唐)の九成宮醴泉銘から字を集めて、倣書(背臨)で書いています。九成宮醴泉銘は「倣書の極則」と評されている。字形は端正、タテ長、厳格で、切れ味鋭い筆法、背勢で直線的である。全体に、上に狭く、下に広い特徴がある。